名古屋地方気象台

愛知県地震概況
令和５年（2023 年）６月

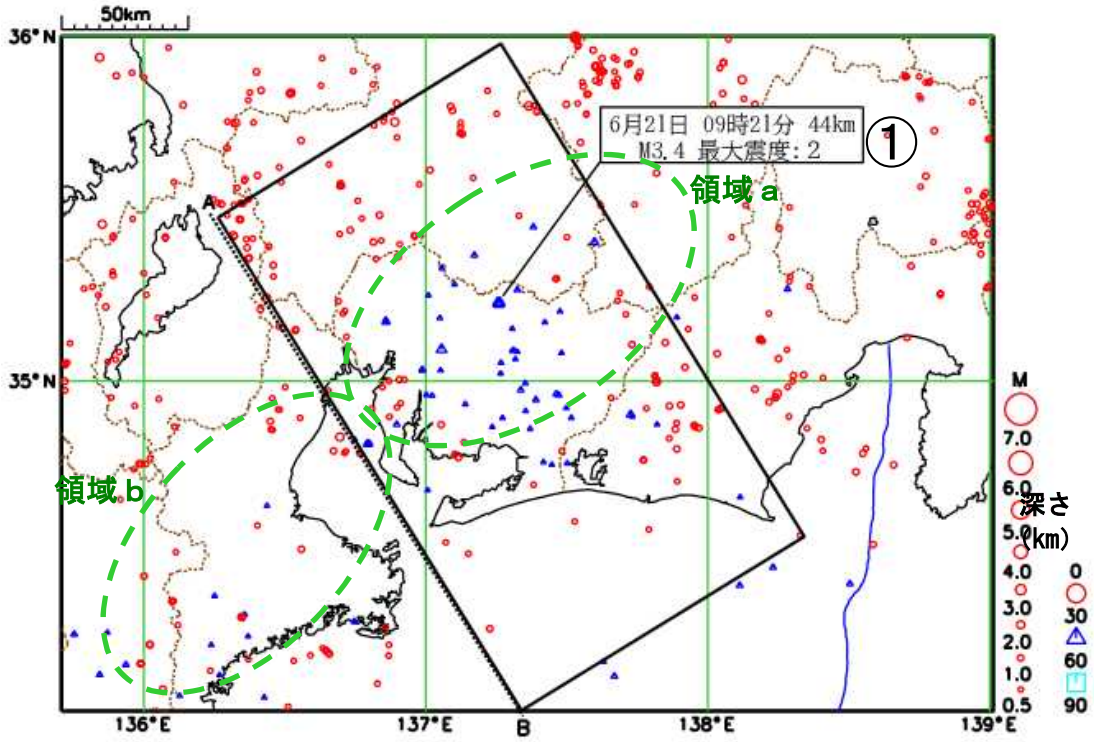
この資料は速報であり、後日の調査で修正することがあります。

○概況

１．愛知県内で震度１以上を観測した地震の状況
６月に愛知県内で震度１以上を観測した地震が１回発生しました。

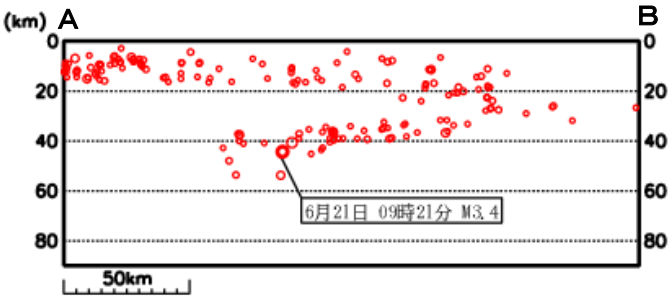
２．愛知県内や愛知県周辺で発生した主な地震
①21 日 09 時 21 分に愛知県西部で M3.4 の地震（最大震度２　深さ 44km）が発生しました。

３.深部低周波地震の活動状況
・東海（領域ａ）
２～３日、26 日
・紀伊半島北部（領域ｂ）
１～２日、６～７日、９～11 日、18～19 日、21 日



震央分布図（2023 年６月１日～30 日　深さ０～90km　M≧0.5）

深部低周波地震（微動）
深部低周波地震の震央は震源決定精度が高くないため、地震が発生した領域を破線で表示しています。
（注）Ｍはマグニチュード（地震の規模）の略です。



左の断面図は、震央分布図中の斜めの四角形内の震源を、Ａ－Ｂに沿って置いたスクリーンに投影する形でプロットしたものです。深さ 25km 程度までの浅い震源の分布域は、陸側プレートの地殻内の活動によるものです。

○県内で震度１以上を観測した地震

愛知県西部（１頁目震央分布図①）

６月 21 日 09 時 21 分に愛知県西部で発生した M3.4 の地震（深さ 44km）により、愛知県名古屋市、長野県売木村で震度２を観測したほか、長野県、岐阜県、愛知県で震度１を観測しました（下図）。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

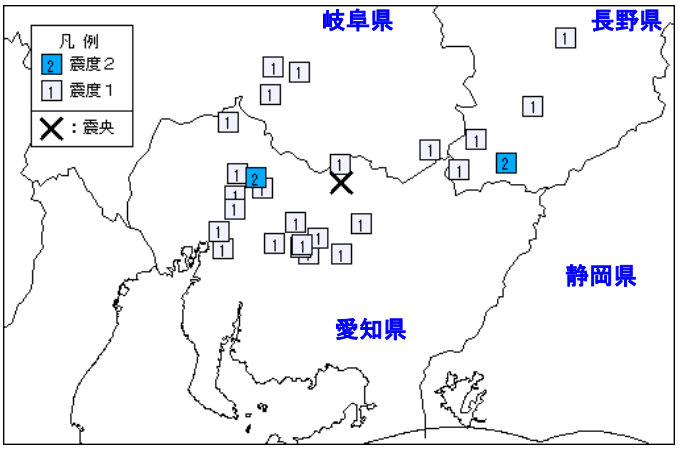


図　６月 21 日 09 時 21 分 M3.4　震度分布図
（観測点別、×：震央）

○震度１以上を観測した地震の表（愛知県）

震源時（年月日時分）　震央地名　緯度　経度　深さ　マグニチュード 各地の震度					
2023年06月21日09時21分	愛知県西部	35°13.6'N	137°15.5'E	44km	M3.4
愛知県　震度２：名古屋守山区下志段味＊ 震度１：名古屋千種区日和町,名古屋瑞穂区塩入町＊,名古屋南区鳴尾＊,名古屋守山区西新＊ 春日井市鳥居松町＊,豊田市小坂本町,豊田市大洞町,豊田市小坂町＊,豊田市坂上町＊ 豊田市百々町＊,豊田市保見町＊,豊田市長興寺＊,豊田市足助町＊,犬山市五郎丸＊ 尾張旭市東大道町＊,愛知みよし市三好町＊					

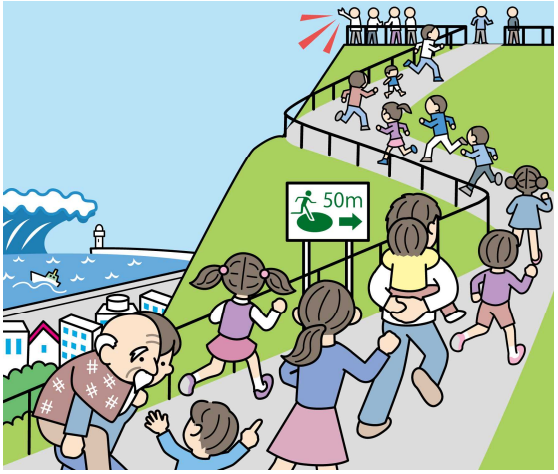
（注　＊印の地点は、地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。）

※本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。
また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
※本資料中で使用している地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平29情使、第798号）。
※地震関係の資料・情報は、名古屋地方気象台のホームページ『https://www.data.jma.go.jp/nagoya/index.html』からも随時ご覧になれますので、あわせてご利用下さい。
※2020年９月以降に発生した地震を含む図については、2020年８月以前までに発生した地震のみによる図と比較して、新たな海域観測網観測データの活用等により、震源の位置や決定数に見かけ上の変化がみられることがあります。

津波から命を守るためには
～ すぐ避難！ ～

これから海水浴など海のレジャーシーズンが始まります。魚釣り･海水浴・磯遊びなどで海岸や河口付近にいる場合に、強い揺れを感じたり、長くゆっくりした揺れを感じたりした場合、または、揺れを感じなくても津波警報を見聞きしたときは、以下のような行動をとることが必要です。

津波から逃げる時や避難した後について



・直ちに『より高いところ』を目指して津波から逃げましょう！
・逃げる時は周辺の人同士、『津波がくるぞ』と声を掛け合いながら避難しましょう。
・車を利用すると、渋滞などにより避難できない場合があります。原則、徒歩で避難しましょう。
・津波は繰り返し襲ってきます。避難後は、最新の情報を確認し、津波警報や自治体の避難指示が出ている間は避難を続けましょう。

津波の標識の例

津波のおそれがある所には、津波避難場所などが分かる標識があります。
海の近くへ行った時はあらかじめ確認することが大切です。

つなみひなん
津波避難
津波が来襲する危険のある地域を表示

つなみひなんばしょ
津波避難場所

つなみひなん
津波避難ビル

津波に対し安全な避難場所を表示

津波フラッグについて

赤白の格子模様の「津波フラッグ」

令和２年６月 24 日から海水浴場等において、津波警報等を視覚的に伝達する手段として「津波フラッグ」の取り組みが始まりました。

聴覚に障がいをお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできるようになりました。

海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。

なお、津波フラッグの詳細については以下の気象庁 HP をご覧ください。
https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html